

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査 結果分析

我孫子市立根戸小学校

## ＜教科に関する調査結果より＞

調査した教科（国語・算数）において全国・県全国の平均の正答率を上回っている。また、各教科のすべての領域で全国・県平均を上回っており、良好な結果であった。

### 【国語】

全ての項目（領域・問題形式）で全国・県平均を大きく上回っている。本校は、一昨年まで国語の研修をしており、子どもたちがしっかりと問題を読み、文章の内容を正確に捉え、設問の内容を理解し、正確に解答することにつながっていると考えられる。領域別の結果では特に、「話すこと・聞くこと」の項目が大きく上回っている。話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることができている。

研究教科が昨年度から国語から算数に変わったので、かつての研究での一定の成果が、今後も持続できるようにしていく必要がある。

### 【算数】

全ての項目（領域・問題形式）で全国・県平均を上回っている。領域別では特に、「数と計算」「図形」の項目は、おおむねよくできている。一方で、「データの活用」で、折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかを見るのがやや苦手ある。「知識・理解」については、よくできているが、説明を問う問題にやや苦手意識がある。昨年度より、研究教科が算数となり、研究主題を「自分の考えを持ち、表現する児童の育成」としている。今後の研究で、子どもたちが自分の考えを表現するスキルが身につくよう取り組んでいく必要があると考える。

少人数指導での授業を継続し、担任及び少人数指導教員と連携してきめ細かな指導を心がけていきたい。

## ＜児童に対する質問紙調査結果に見られる特徴と現状＞

「毎日同じくらいの時間に起きていますか/寝ていますか」や「家で計画的に勉強をしていますか」などの家庭での生活・学習習慣に関する質問の回答を見ても、全国・県の平均値と比べて良好な結果であり、基本的な生活習慣がしっかりと身につけていることがわかる。「学校に行くのは楽しいと思いますか」「友達関係に満足していますか」の質問については、「楽しい/満足している」と答える児童がほとんどであった。「自分にはよいところがあると思いますか」「先生はあなたの良いところを認めてくれていると思いますか」の質問に対して、肯定的に回答している児童の割合が多かった。今後も、児童の良さを認め、学習や様々な活動に対して自信をもってできるよう支援していきたい。

「人が困っているときは、進んで助けていますか」については、ほとんどの児童が「たすけている」と答えていた。全校朝礼などの時間に、温かい雰囲気作りについて子どもたちに話してきたことなどの成果だと思われる。

ICTの活用については、どの質問においても、全国・県の平均を下回っている、もしくは、同等レベルである。しかし、今年度は、様々な教科でICTを活用し児童の学習意欲の向上と授業改善に努めている。これからの活用についてはさらに、校内で検討していく。

#### 【保護者の方へ】

規則正しい生活習慣を送ること、携帯電話やスマートフォンを持たせている家庭では、使い

方の約束を決めたり、ゲームの時間を決めたりすることが大切ですので、ご家庭におかれましても今一度話題にし、今までの家庭での過ごし方について振り返る機会になればと思います。学校としても、全校朝礼や学活、道徳などを通して、子どもたちと一緒に考えていきたい思います。また、宿題等で家庭で取り組む課題についても指導していきますので、今後ご家庭で声掛けをお願いします。

校内研修をさらに推進させ、児童の表現する活動を通して思考力を深め豊かに表現できる児童を育成していきます。また、若年層教員に対する授業研究を柱とした研修を引き続きも継続して行っていきます。

今後も、今回の調査結果分析をもとに今までの指導を振り返り授業改善に努めて参ります。各家庭におかれましても皆様のご理解ご協力をよろしくをお願いします。